

5G通信

Vol.25



いま話題の次世代通信「5G」に関する
とっておきの情報をご紹介します

MWC2019 に見る5G戦線

2月下旬にスペインのバルセロナで開催されたスマホの祭典「MWC（モバイル・ワールド・コンGRESS）2019」では、最新の5G対応機種が続々と発表されました！

5Gスマートフォン解禁

- 今回発表された5G（第5世代移動通信システム）対応スマートフォン（スマホ）の特徴としては、5Gの「高速・大容量通信」を意識したフォルダブル（折り畳み）式や複眼カメラ、高精細大画面などが挙げられます。
- 5G元年とされる今年のMWCは、スマホという身近な存在の“技術革新”を目の当たりにする機会として、世界中のメディアが関心を寄せました。
- スマホに存在する膨大な個人情報の解析・活用は、データエコノミー時代において、企業の競争力を大きく左右すると見られています。飽和状態と言われるスマホ市場ですが、動画ビジネス拡大に伴う需要やIoT（モノのインターネット）製品との連動などデータ収集ツールとしての重要性から、関連企業は5Gスマホに新たな活路を見出そうと模索しています。



5Gトレンドを加速させる新技術

- 今回のMWCではスマホだけでなく、5G関連の新型アンテナやモデム等といった5Gを後押しする具体的な新技術も披露され、同イベントの開催は年初来好調な5G関連銘柄にとってさらなる追い風になったと言えます。


ノキア（フィンランド、通信インフラ関連）

「Massive MIMO*」機能を搭載した5G対応の新型アンテナを出版。国内建機メーカーのコマツは、建機の遠隔操作のため自社専用ネットワークの構築を目指しており、新型アンテナをはじめとした通信機器分野で同社との提携を発表しています。

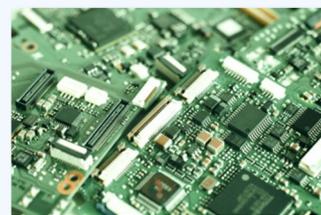
*Massive MIMOとは、多数の小さなアンテナをひとつの基地局に組み込むことで、通信の混雑を解消、高速・大容量通信を実現する技術のこと。



メディアテック（台湾、IoT機器・装置関連）

スマホに搭載される5G対応モデム**を披露し、米クアルコムと並び5G対応モデムの開発分野をリード。中国のスマホメーカーや米半導体企業のスカイワークス・ソリューションズ、日本の村田製作所は、5G対応スマホの開発に向け同社との提携を発表しました。

**モデムとは、データ信号の変換により、ネットワーク通信を処理するデバイスのこと。高性能なネットワーク通信の肝となる。



（出所）当資料作成時点の各種情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成 ※ 図・写真はイメージです。



【 ご留意事項 】

- 当資料はニューバーガー・バーマンの情報を基に三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。